

**平成29年度  
介護サービス事業所調査の概要  
[地域密着型サービス]**

**調査の概要**

**1 調査の目的**

この調査は、本市の地域密着型サービスの稼働状況を把握することにより、地域密着型サービスの提供に着目した基盤整備に関する基礎資料を得ることを目的とする。

**2 調査の対象及び客体**

本市において、平成30年3月31日現在で次の地域密着型サービス事業所（介護予防を含む。）がサービスを提供しており、この事業所のうち平成29年度中休止であった認知症対応型通所介護事業所（1事業所）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所（1事業所）を除く事業所の全数を調査客体とした。

事業区分	事業所数		回答数	回収率
	介護	予防		
認知症対応型通所介護	10	9	8	89%
小規模多機能型居宅介護	31	26	30	97%
認知症対応型共同生活介護	21	18	21	100%
地域密着型通所介護	44	-	44	100%
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	-	3	100%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	-	2	100%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	-	1	100%

**3 調査の時期**

平成30年3月31日

**4 調査事項**

**(1) 認知症対応型通所介護**

毎月の次の数値について調査。

- ①単位当たりの定員数、延べ利用者数（うち鳥取市の介護保険被保険者数）、介護・看護従業者数（実人数、常勤換算した人数）
- ②年度末現在の契約者の住所地別の人数（日常生活圏域内又はそれ以外等）
- ③年度末現在の契約者の要介護度別・日常生活自立度別の人数
- ④年度末現在の鳥取市以外の市町村別の利用者数
- ⑤宿泊事業の実施の有無、実施している場合は毎月の宿泊定員数、延べ宿泊者数、実宿泊者数（うち20日以上宿泊者数）、宿泊サービス従業者数、宿泊設備（個室又は個室以外、延床面積、消防設備の設置状況）
- ⑥年度末現在の契約者の他施設への入所申込者数

**(2) 小規模多機能型居宅介護**

毎月の次の数値について調査。

- ①運営規程の登録定員数、通い定員、宿泊定員数
- ②実登録者数、通いの延べ利用者数、宿泊の延べ利用者数・実利用者数（うち20日以上利用者数）、訪問の実利用者数・延べ訪問回数、介護従業者数（実人数、常勤換算した人数）

- ③年度末現在の契約者の住所地別の人数（日常生活圏域内又はそれ以外等）
- ④年度末現在の登録者の要介護度別・日常生活自立度別の人数
- ⑤年度末現在の契約者の他施設への入所申込者数
- ⑥事業所で採用しているケアマネジメントの手法（基準省令で定められた通常的手法、ライフサポートワーク）

### （３）認知症対応型共同生活介護

毎月の次の数値について調査。

- ① ユニット単位の定員数、実利用者数（うち鳥取市の介護保険被保険者数）、介護従業者数（実人数、常勤換算した人数）
- ② 年度末現在の契約者の住所地別の人数（日常生活圏域内又はそれ以外等）
- ③ 当該年度の入退所者数
- ④ 年度末現在の待機者数
- ⑤ 年度末現在の実利用者の要介護度別・日常生活自立度別の人数
- ⑥ 年度末現在の鳥取市外の市町村別の利用者数
- ⑦ 看取り介護への対応の有無、対応している場合は看取り介護の実施件数、実施状況、課題
- ⑧ 利用者が提供を受けている主な医療処置、医療処置の実施人数、実施状況、課題

### （４）地域密着型通所介護

毎月の次の数値について調査。

- ① 単位当たりの定員数、延べ利用者数（うち鳥取市の介護保険被保険者数）、介護・看護職員数（実人数、常勤換算した人数）
- ② 年度末現在の契約者の住所地別の人数（日常生活圏域内又はそれ以外等）
- ③ 年度末現在の契約者の要介護度別、日常生活自立度別の人数
- ④ 年度末現在の鳥取市外の市町村別の利用者数
- ⑤ 宿泊事業の実施の有無、実施している場合は毎月の宿泊定員数、延べ宿泊者数、実宿泊者数（うち20日以上実宿泊者数）、1営業日あたりの平均宿泊者、宿泊サービス料、宿泊サービス従事者数、宿泊設備（個室又は個室以外、延床面積、消防設備の設置状況）
- ⑥ 年度末現在の契約者の他施設への入所申込者数

### （５）地域密着型特定施設入居者生活介護

毎月の次の数値について調査。

- ① 入居定員数、実入居者数（うち鳥取市の介護保険被保険者数）、介護・看護職員数（実人数、常勤換算した人数）
- ② 年度末現在の契約者の住所地別の人数（日常生活圏域内又はそれ以外等）
- ③ 当該年度の入退居者数
- ④ 年度末現在の実入居者の要介護度別・日常生活自立度別の人数
- ⑤ 年度末現在の鳥取市外の市町村別の利用者数
- ⑥ 看取り介護への対応の有無、対応している場合は看取り介護の実施件数、実施状況、課題
- ⑦ 利用者が提供を受けている主な医療処置、医療処置の実施人数、実施状況、課題

### （６）定期巡回・随時対応型訪問介護看護

毎月の次の数値について調査。

- ① 実登録者数、実利用者数（うち訪問看護サービス利用実人数）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護従業者（実人数、常勤換算した人数）

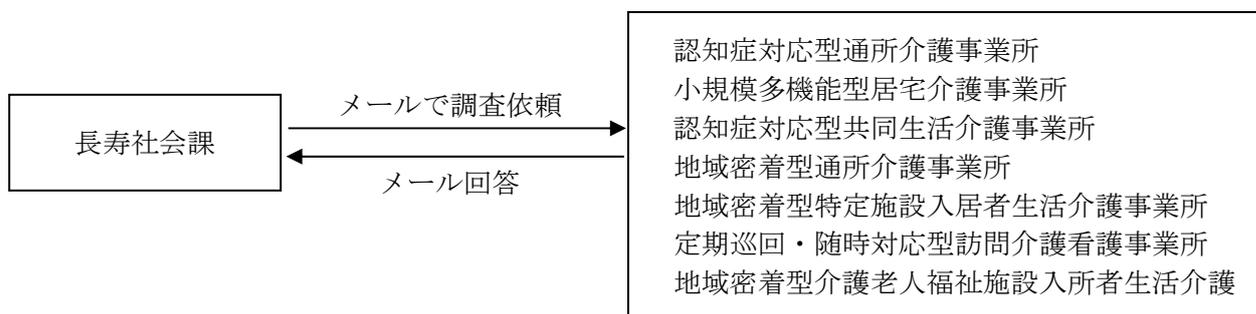
- ② 年度末現在の登録者の住所地別の人数（日常生活圏域内又はそれ以外等）
- ③ 年度末現在の実登録者の要介護度別・日常生活自立度別の人数
- ④ 年度末現在の契約者の他施設への入所申込者数

**(7) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護**

- ① 年度末現在の居室類型別の定員、要介護度・日常生活自立度別の入所者数（うち鳥取市の介護保険被保険者数）
- ② 年度末現在の居室類型別の居住費・食費の利用者負担段階別の入所者数
- ③ 年度末現在の定員超過数とその理由
- ④ 当該年度の入退所者数
- ⑤ 当該年度の居室類型別の短期入所生活介護の定員数、要介護度別の延べ利用者数

**5 調査の方法及び系統**

施設の管理者が調査票に記入する方式とした。



**6 調査の集計**

結果の集計は、長寿社会課介護保険係で行った。

**7 利用上の注意**

- (1) 1つの事業所で介護サービスと介護予防サービスを提供している場合は、合計した数値で集計している。
- (2) この概要に掲載の数値は四捨五入しているので、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

**8 調査結果の概要**

**[地域密着型サービス全般]**

**(1) 経営主体別の施設数と構成割合**

経営主体別の施設数と構成割合は次のとおりとなっている。(表1・2)

(表1) 経営主体別の事業所数

[単位：施設数]

平成30年3月31日現在

事業区分	総数	社会福祉法人	医療法人	特定非営利活動法人	株式会社	有限会社	合同会社	社団法人
認知症対応型通所介護事業所	10	5	3	2	0	0	-	-
小規模多機能型居宅介護事業所	31	10	2	3	15	1	-	-
認知症対応型共同生活介護事業所	21	6	7	1	5	2	-	-
地域密着型通所介護事業所	44	2	2	4	21	10	4	1
地域密着型特定施設入居者生活介護事業所	3	-	1	-	2	-	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	2	1	1	-	-	-	-	-
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1	-	-	-	-	-	-
計	112	25	16	10	43	13	4	1

(備考) 赤太字は事業所数が多い順に1番と2番のもの。

(表2) 経営主体別事業所数の構成比

[単位：%]

平成30年3月31日現在

事業区分	総数	社会福祉法人	医療法人	特定非営利活動法人	株式会社	有限会社	有限会社	有限会社
認知症対応型通所介護事業所	100.0	50	30	20	-	-	-	-
小規模多機能型居宅介護事業所	100.0	32.3	6.4	9.7	48.4	3.2	-	-
認知症対応型共同生活介護事業所	100.0	28.6	33.3	4.8	23.8	9.5	-	-
地域密着型通所介護事業所	100.0	4.5	4.5	9.1	47.8	22.7	9.1	2.3
地域密着型特定施設入居者生活介護事業所	100.0	-	33.3	-	66.7	-	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	100.0	50	50	-	-	-	-	-
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	100.0	100	-	-	-	-	-	-
計	100.0	22.3	14.3	9.0	38.4	11.6	3.5	0.9

(備考) 赤太字は事業所数が多い順に1番と2番のもの。

## (2) 要介護度利用者数の構成割合

事業区分別の要介護度別利用者数の構成割合は下段の(表3)のとおりとなっている。

認知症対応型通所介護は要介護1から要介護3が利用の中心となっている。

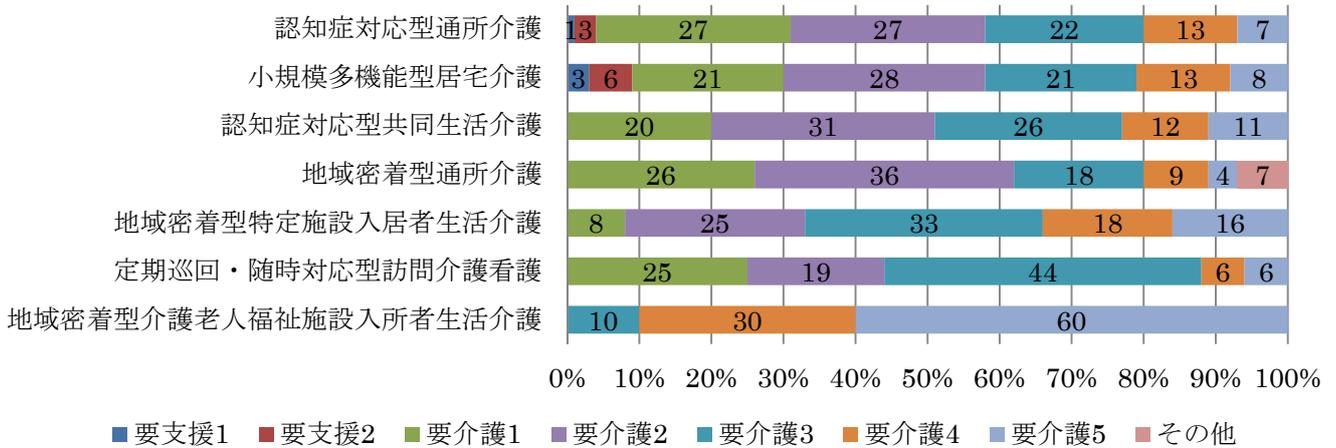
小規模多機能型居宅介護は、要介護2の割合が最も多いが、他の介護度の利用も一定程度あり、幅広く利用されている。

認知症対応型共同生活介護は要介護2から要介護3の利用が57%を占めている。今後は、重度者の利用割合が増加する傾向にあると思われるため、看取りなど重度者への対応が課題になるものと考えられる。

地域密着型通所介護は、要介護2の利用を中心に、要介護1から要介護5まで幅広く利用している。

また、平均要介護度は地域密着型サービス7施設全体で2.4(うち認知症対応型通所介護2.4、小規模多機能型居宅介護2.3、認知症対応型共同生活介護2.6、地域密着型通所介護2.3、地域密着型特定施設入居者生活介護事業所3.1、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所2.5、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護4.5)となっている。

(表3) 要介護度別利用者の構成割合



(平成30年3月31日現在)

※地域密着型サービス全体の平均要介護度2.8

**[サービス別の概要]**

**(1) 認知症対応型通所介護**

(※数値は年度末現在のもの)

**【事業所数、定員等】**

- 本市の認知症対応型通所介護は、全体で9施設がサービスを提供している。
- 営業時間は平均8時間6分、サービス提供時間は平均5時間53分となっている。
- 利用定員は、9施設全体で96人（1施設当たり定員12人）となっている。
- 単独型・併設型の事業所は、定員12人に対して1日当たりの平均利用者6.3人となっており、定員に対してまだ余裕のある利用者数となっている。
- 稼働率は、単独型・併設型の事業所は平均65.5%（1事業所当たり最小45.1%～最大88.9%）となっている。

**【宿泊事業】**

- 宿泊事業を実施している事業所は、全9事業所中2事業所（11%）となっている。
- 宿泊定員は平均4人で、宿泊者は1日平均3人となっている。
- 年度末の3月の実宿泊者数は6人であり、このうち3人（50%）が20日以上宿泊している。
- 宿泊事業を行っている事業所に限った稼働率は、平均50.0%となっている。

【利用者の住所地】

■利用者の住所地は下段の（表4）のとおりとなっている。施設の所在する日常生活圏域内からの利用が71%と半数以上を占めている。

■本市の介護保険被保険者利用率は100%となっている。

（表4）利用者の住所地

【全施設】

（単位：人）

区分		人数	構成比
利用者の住所地が鳥取市内の方 (①+②)		139人	100.0%
施設の所在する日常生活圏域内から利用 ①	内訳	99人	71%
	事業所と同じ小学校区から利用	60人	43.1%
	上記以外	39人	28%
施設の所在する日常生活圏域外から利用 ②		40人	28.7%

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■全事業所の要介護度別の利用者は下段の（表5）のとおりとなっている。要介護2の利用を中心に、要介護1から要介護5まで幅広く利用している。

宿泊事業（※旅館業法の届出を行った簡易宿泊施設）の実施の有無で比較しても、要介護1から要介護5まで幅広く利用している。

（表5）要介護度別の利用者数

【全事業所】・・・A

（単位：人）

区分	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
利用者	2	4	37	38	30	18	10	139
構成比	1%	3%	27%	27%	22%	13%	7%	100%

【Aのうち 宿泊事業を行っていない事業所】

（単位：人）

区分	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
利用者	1	4	31	33	26	15	10	121
構成比	2%	3%	26%	27%	22%	12%	8%	100%

【Aのうち**宿泊事業を行っている**事業所】

(単位：人)

区分	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
利用者	0	0	6	5	4	3	0	18
構成比	0%	0%	<b>33%</b>	<b>28%</b>	<b>22%</b>	17%	0%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

■認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数は下段の**(表6)**のとおりとなっている。

**(表6) 日常生活自立度別の利用者数**

【全施設】

(単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
利用者	0	4	21	47	34	13	20	0	139
構成比	0%	3%	<b>15%</b>	<b>34%</b>	<b>25%</b>	9%	14%	0%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

■「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計**(表7)**すると、利用者の主な状態像は「要介護1から3」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度IIa～IIIa」の領域に分布している。

(表7) 鳥取市内の認知症対応型通所介護の利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の認知症対応型通所介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		要支援		要介護					計	
	判定基準	見られる症状・行動の例	1	2	1	2	3	4	5		その他
なし			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	0人	2人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	4人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さが多々見られても、誰かが注意していれば自立できる。									
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	2人	1人	13人	1人	3人	1人	0人	0人	21人
	b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	0人	1人	17人	22人	5人	1人	1人	0人	47人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。									
	a	日を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	4人	10人	10人	6人	4人	0人	34人
	b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	0人	1人	9人	2人	1人	0人	13人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意識疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0人	0人	2人	3人	3人	8人	4人	0人	20人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		計	2人	4人	37人	38人	30人	18人	10人	0人	139人

「要介護1~3」、「自立度II a~III a」が本市所在の事業所における利用者の中心的状态像。

【備考】  
 1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果  
 2 調査時点：平成30年3月31日現在  
 3 回答数：8事業所/9事業所（回答率89%）  
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

## 【介護保険施設への入所申込みの状況】

■利用者のうち、他の介護保険施設への入所を希望している者は下段（表8）のとおりとなっている。

（表8）介護保険施設への入所申込み者

【全施設】

（単位：人）

利用者	他施設へ申込み者	内訳（申込み先の施設）					その他
		特養	老健	介護療養	特定施設	GH	
139	4	0	4	0	0	0	0

## 【その他】

■日常生活圏域別の稼働率は下段の（表9）のとおりとなっている。

■事業所別の意見は下段の（表10）のとおりとなっている。

(表9) 日常生活圏域別の稼働率 [認知症対応型通所介護] 1/2

計画区域			平成29年度(年度末現在)													稼働率 (D)/(C)											
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	合計①～②			契約者	登録者の住所地				要支援		要介護													
				1日当たり	うち鳥取市の被保険者			日常生活圏域内		事業所 と同じ 小学校区	左記以外	事業所 の所在 する日 常生活 圏域外	鳥取市 外(み なし指 定)	1	2		1	2	3	4	5	その他					
					定員 (C)	利用者 (D)		利用者	うち鳥取市の被保険者																		
A	中ノ郷	浜坂																									
		中ノ郷																									
		計																									
	北	城北	1	12	8	8	19	4	10	5		1		6		6	3	3								69.1%	
		久松																									
		遷喬																									
	計	1	12	8	8	19	4	10	5		1		6		6	3	3								69.1%		
	西	醇風																									
		富桑	1	12	11	11	20	7	2	11				2	7	5	4	2									88.9%
		明德																									
計	1	12	11	11	20	7	2	11				2	7	5	4	2									88.9%		
福部	福部																										
	計																										
合計			2	24	19	19	39	11	12	16		1		8	7	11	7	5								79.0%	
B	東	修立																									
		稲葉山																									
		岩倉																									
	計																										
	南	倉田																									
		美保南	1																								
		日進																									
	計	1																									
	桜ヶ丘	米里																									
		津ノ井																									
若葉台																											
計																											
国府	宮ノ下	1	12	6	6	12	8	4					6	2	2	2										50.4%	
	大矛																										
	成器																										
	谷																										
計	1	12	6	6	12	8	4					6	2	2	2										50.4%		
計	2	24	13	13	25	17	7	1				6	8	5	4	2										54.2%	
合計			3	24	13	13	25	17	7	1			6	8	5	4	2									54.2%	
C	江山	神戸																									
		大和																									
		美穂																									
	計																										
	高草	大正	1																								
		東郷																									
		松保																									
豊実																											
計	1																										
合計			1																								



■年度末の3月の実宿泊者数は255人であり、このうち114人(44.7%)が20日以上宿泊している。

■稼働率は、全体の登録定員に対して平均84.4%(1事業所当たり最小50.0%~最大100%)、通いは平均76.5%、宿泊は平均60.8%となっており、稼働率は事業所と所在地によって大きくばらつきがある。

また、基準省令の最大登録定員29人に対しての稼働率は、全体平均69.4%と登録限度に対してかなり余裕のある状況である。

### 【登録者の住所地】

■登録者の住所地は下段の(表10)のとおりとなっている。施設の所在する日常生活圏域内からの利用が72.9%と約7割を占めている。

(表10) 住所地別の登録者数

【全施設】 (単位：人)

区分		人数	構成比
住所地在鳥取市内の方 (①+②) I		621人	99.5%
施設の所在する日常生活圏域内から利用 ①		455人	72.9%
内訳	事業所と同じ小学校区から利用	239人	38.3%
	上記以外	216人	34.6%
施設の所在する日常生活圏域外から利用 ②		166人	26.6%
住所地在鳥取市外の方(みなし指定) II		3人	0.5%
合計 (I+II)		624人	100.0%

### 【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■全事業所の要介護度別の登録者は下段の(表11)のとおりとなっており、要介護2の利用を中心に、要支援1から要介護5まで幅広く利用している。

このうち要介護4から要介護5の利用は、全登録者623人中129人(21%)となっており、宿泊の機能を上手く組み合わせることで、重度者の在宅介護の支援に一定の効果を発揮していることが窺える一方で、この利用者の中には特養待機者など常時宿泊している者も含まれているため、施設入所の待機場所としての一面も兼ね備えていることが窺える。

(表 1 1) 要介護度別の登録者数

【全施設】

(単位：人)

区分	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
登録者	18	39	131	174	132	82	47	623
構成比	3%	6%	21%	28%	21%	13%	8%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

- 認知症高齢者の日常生活自立度別の登録者は下段の(表 1 2)のとおりとなっている。このうちⅡa からMまでの利用者は624人中488人(78%)を占めており、在宅の認知症高齢者を支える基幹サービスの一つとして、利用が進んでいることが窺える。

(表 1 2) 日常生活自立度別の登録者数

【全施設】

(単位：人)

区分	なし	I	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	M	計
			a	b	a	b			
登録者	55	81	71	156	165	34	53	9	624
構成比	9%	13%	11%	25%	27%	6%	8%	1%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計(表 1 3)すると、利用者の主な状態像は「要介護1から要介護3」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb～Ⅲa」の領域に分布している。

(表13) 鳥取市内の小規模多機能型居宅介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の小規模多機能型居宅介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		要支援		要介護						計
	判定基準	見られる症状・行動の例	1	2	1	2	3	4	5	その他	
なし			5人	12人	7人	19人	7人	4人	0人	1人	55人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	6人	19人	14人	16人	18人	7人	1人	0人	81人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。									
a		家庭外で上記IIの状態が見られる。	3人	3人	25人	22人	9人	7人	2人	0人	71人
b		家庭内でも上記IIの状態が見られる。	1人	4人	52人	56人	27人	14人	2人	0人	156人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。									
a		日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	2人	1人	28人	49人	49人	21人	15人	0人	165人
b		夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	0人	1人	8人	6人	8人	11人	0人	34人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られる、常に介護を必要とする。	0人	0人	2人	4人	15人	18人	14人	0人	53人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	1人	0人	2人	0人	1人	3人	2人	0人	9人
		計	18人	39人	131人	174人	132人	82人	47人	1人	624人

「要介護1～3」、「自立度IIb～IIIa」が本市所在の事業所における利用者の中心的な状態像。

【備考】  
 1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービスマネジメント調査の結果  
 2 調査時点：平成30年3月31日現在  
 3 回答数：30事業所/31事業所（回答率97%）  
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

## 【介護保険施設への入所申込みの状況】

- 登録者のうち、他の介護保険施設への入所を希望している者は下段（表14）のとおりとなっており、特別養護老人ホームやグループホームへの入所申込者が多い。

（表14）他の介護保険施設への入所申込み者

【全施設】

（単位：人）

登録者	他施設へ申込み者	内訳（申込み先の施設）					その他
		特養	老健	介護療養	特定施設	GH	
624	87	52	12	0	0	13	10

## 【ケアマネジメントの手法】

- ケアマネジメントの手法は、「基準省令で定められた通常的手法」を採用している事業所が31事業所中26事業所（87.7%）、「ライフサポートワークの手法」を採用している事業所が31事業所中4事業所（13.3%）となっている。

※「基準省令で定められた通常的手法」…居宅サービス計画と小規模多機能型居宅介護計画をそれぞれの基準に従って作成。

※「ライフサポートワークの手法」…全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会の「ライフサポートワークのガイド・様式」を採用。

## 【その他】

- 日常生活圏域別の稼働率は下段の（表15）のとおりとなっている。

- 事業所別の意見は下段の（表16）のとおりとなっている。

(表15) 日常生活圏域別の稼働率【小規模多機能型居宅介護】 1/2

計画区域			平成29年度(年度末現在)														(H) =(G)/ (F)			
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	利用実数																
				登録定員 (F)	登録者 (G)	登録者の住所地						要支援		要介護					その他	
						日常生活圏域内		左記以外		事業所の所在する日常生活圏域外	鳥取市外から入所	1	2	1	2	3		4		5
事業所と同じ小学校区	左記以外	1	2	1	2	3	4	5												
A	中ノ郷	浜坂	1	20	17	3	8	6			1	6	5	1	1	3	85.0%			
		中ノ郷																		
		計	1	20	17	3	8	6			1	6	5	1	1	3	85.0%			
	北	城北	1	25	22	9	11	2			2	6	6	3	4	1	88.0%			
		久松																		
		遷喬																		
		計	1	25	22	9	11	2			2	6	6	3	4	1	88.0%			
	西	醇風	1	25	22	12		10				8	6	5	3		88.0%			
		富桑																		
		明德	1	29	27	4	17	6		1	4	3	7	7	2	3	93.1%			
	計	2	54	49	16	17	16		1	4	11	13	12	5	3	90.7%				
	福部	福部	1	18	9	3	1	4	1		1	1	3	1	2	1	50.0%			
計		1	18	9	3	1	4	1		1	1	3	1	2	1	50.0%				
合計			5	117	97	31	37	28	1	1	8	24	27	17	12	8	82.9%			
B	東	修立																		
		稲葉山	1	25	21	4	8	9		1		3	9	8			84.0%			
		岩倉																		
		計	1	25	21	4	8	9		1		3	9	8			84.0%			
	南	倉田																		
		美保南	1	29	27	8		19			1	5	8	7	5	1	93.1%			
		日進	3	76	61	14	19	28		3	1	18	23	8	6	2	80.3%			
		美保	3	83	73	26	22	25		2	2	11	19	20	11	8	88.0%			
	計	7	188	161	48	41	72		5	4	34	50	35	22	11	85.6%				
	桜ヶ丘	米里																		
		津ノ井	1	25	19	8	7	4				5	5	3	2	4	76.0%			
		若葉台																		
		面影																		
	計	1	25	19	8	7	4				5	5	3	2	4	76.0%				
	国府	宮ノ下																		
大矛																				
成器																				
谷																				
あおば	1																			
計	1																			
合計			10	238	201	60	56	85		6	4	42	64	46	24	15	84.5%			
C	江山	神戸																		
		大和																		
		美穂	1	18	14	3	3	8				2	5	5	1	1	77.8%			
	計	1	18	14	3	3	8				2	5	5	1	1	77.8%				
	高草	大正	3	87	76	33	41		2	1	6	13	15	16	17	8	87.4%			
		東郷																		
		松保	1	25	22		6	16			3	3	4	9	1	2	88.0%			
		豊実																		
明治																				
計	4	112	98	33	47	16	2	1	9	16	19	25	18	10	87.5%					
合計			5	130	112	36	50	24	2	1	9	18	24	30	19	11	86.2%			

(表15) 日常生活圏域別の稼働率【小規模多機能型居宅介護】 2/2

計画区域			平成29年度(年度末現在)																		
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	登録定員(運営規模)											(H) =(G)/ (F)						
				登録定員 (F)	登録者 (G)	登録者の住所地					要支援		要介護								
						日常生活圏域内		事業所 の所在 する日 常生活 圏域外	鳥取 市外 から 入所	1	2	1	2	3		4	5	その他			
						事業所 と同じ小 学校区	左記以 外														
D	湖東	千代水																			
		末恒																			
		湖山西	1	29	21	6	9	6			2	7	7	2	1	2				72.4%	
		賀露																			
		湖山	1	24	20	6	8	6			2	2	4	4	5	2			1	83.3%	
	計	2	53	41	12	17	12			2	4	11	11	7	3	2	1			77.4%	
	湖南	大郷(湖 南)	1	24	18	6	7	5					5	1	7	4	1				75.0%
		吉岡(湖 南)																			
	計	1	24	18	6	7	5					5	1	7	4	1				75.0%	
	合計	3	77	59	18	24	17			2	4	16	12	14	7	3	1			76.6%	
E	河原	河原	2	58	56	23	24	9			1	4	10	21	7	10	3			96.6%	
		国英																			
		八上																			
		西郷																			
		散岐																			
	計	2	58	56	23	24	9			1	4	10	21	7	10	3				96.6%	
	用瀬	用瀬	1	18	17	9	8				1	2	2	6	3		3				94.4%
		大村																			
		社	1	18	13	11	1	1			1	1	3		5	2	1				72.2%
	計	2	36	30	20	9	1			2	3	5	6	8	2	4				83.3%	
佐治	佐治	1	29	22	20	2				2	3	5	7	4		1				75.9%	
	計	1	29	22	20	2				2	3	5	7	4		1				75.9%	
合計	5	123	108	63	35	10			5	10	20	34	19	12	8				87.8%		
F	気高	瑞穂																			
		逢坂																			
		酒津																			
		宝木																			
		浜村	1																		
	計	1																			
	鹿野	鹿野																			
		勝谷	1	25	20	6	14				1	1	3	5	4	5	1				80.0%
		小鷲河																			
	計	1	25	20	6	14				1	1	3	5	4	5	1				80.0%	
	青谷	青谷																			
		日置																			
		日置谷	1	29	27	25		2			2	3	8	8	2	3	1				93.1%
勝部																					
中郷																					
計	1	29	27	25		2			2	3	8	8	2	3	1				93.1%		
合計	3	54	47	31	14	2			3	4	11	13	6	8	2				87.0%		
総計	31	739	624	239	216	166	3		18	39	131	174	132	82	47	1			84.4%		

(表 16) 事業所別の意見 [小規模多機能型居宅介護]

事業所名	内容
A 事業所	登録終了後、新しい利用希望者を見つけるのが大変。また、希望者の大半は連泊を希望されている方である。小規模の目的と現実のニーズにズレがあるように感じる。
B 事業所	夜勤のできる介護職員の確保が難しく、勤務体制に余裕がない。
C 事業所	外部、特に〇〇地域外の方からの利用申込が少ない。
D 事業所	毎日型が多い
E 事業所	山間部を含む地域を対象としており、冬季になると雪で交通が閉ざされてしまう道があり、支援が限定的になってしまうことがある。
F 事業所	入所施設待機の連泊利用が解消されにくい。
G 事業所	訪問利用、通い利用回数が増加しており、ニーズに充分こたえられているか不安。
H 事業所	日曜、夜勤の勤務制限のある職員を抱えるなかで、日勤、夜勤などパートで補ってきたが、さらなる介護の質の向上を考えると、勤務制限のない常勤職員の確保が課題である。

### (3) 認知症対応型共同生活介護

(※数値は年度末現在のもの)

#### 【事業所数、定員等】

- 本市の認知症対応型共同生活介護は、全体で 21 施設がサービスを提供している。
- 計 21 事業所の事業形態の内訳は、1 ユニットが 16 事業所、2 ユニットが 5 事業所、3 ユニットが 1 事業所となっており、小規模な 1 ユニットの事業所が全体の 76.1%を占めている。
- 入居定員は、21 施設全体で 243 人となっている。
- 入居者は、全体の利用定員 243 人に対して利用者 240 人となっており、稼働率は 98.7% (1 施設当たり最小 88.9%~最大 100%) となっている。

## 【入居前の住所地】

■入居前の住所地は下段の（表17）のとおりとなっている。施設の所在する日常生活圏域内からの入居が53.3%、施設の所在する日常生活圏域以外からの入居が46.7%となっている。

（表17）入居前の住所地

【全施設】

（単位：人）

区分			人数	構成比
入居前の住所地が鳥取市内の方（①+②）			I	240人 100%
施設の所在する日常生活圏域内から入居			①	128人 53.3%
内 訳	事業所と同じ小学校区から入居		42人	17.5%
	上記以外		86人	35.8%
施設の所在する日常生活圏域以外から入居			②	112人 46.7%
入居前の住所地が鳥取市外の方（みなし指定）			II	0人 0%
合計（I+II）				240人 100.0%

## 【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■全事業所の要介護度別の入居者は下段（表18）のとおりとなっており、このうち要介護1から要介護3の利用は、全登録者230人中177人（77%）となっており、利用の中心である一方、要介護4から要介護5の重度者の利用も一定数あり、今後重度者の利用割合は増加する傾向にあると思われるため、看取りなど重度者への対応が課題になるものと思われる。

（表18）要介護度別の入居者数

【全施設】

（単位：人）

区分	要支援	要介護					計
	2	1	2	3	4	5	
入居者	1	46	72	59	27	25	230
構成比	0%	20%	31%	26%	12%	11%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤字で表示している。

※1事業所で内訳不明との回答であったため、表17と利用者合計が異なる。

■認知症高齢者の日常生活自立度別の入居者は下段の（表19）のとおりとなっている。

（表19）日常生活自立度別の入居者数

【全施設】

（単位：人）

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
入居者	0	4	20	49	95	33	26	3	230
構成比	0%	2%	10%	21%	41%	14%	11%	1%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

※1事業所で内訳不明との回答であったため、表17と利用者合計が異なる。

■「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計（表20）すると、入居者の主な状態像は「要介護1から3」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb～Ⅲa」の領域に分布している。

(表20) 鳥取市内の認知症対応型共同生活介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の認知症高齢者グループホーム入所者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		要支援	要介護						計
	判定基準	見られる症状・行動の例		2	1	2	3	4	5	
なし			0人							
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	0人	1人	3人	0人	0人	0人	0人	4人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。								
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	1人	9人	4人	4人	1人	1人	0人	20人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	0人	17人	22人	8人	1人	1人	0人	49人	
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。								
	a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	14人	33人	28人	13人	7人	0人	95人
b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	0人	2人	8人	14人	5人	4人	0人	33人	
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0人	3人	1人	4人	6人	12人	0人	26人
	M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	0人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	3人
		計	1人	47人	72人	59人	26人	25人	0人	230人

「要介護1〜3」・「自立度IIb〜IIIa」が本市所在の事業所における利用者の中心的状态。

【備考】  
 1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果  
 2 調査時点：平成30年3月31日現在  
 3 回答数：20事業所/21事業所（回答率95%）  
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

## 【入退所の状況】

■入退所の状況は下段の（表 2 1）のとおりとなっている。

（表 2 1）施設の入退所の状況

【全施設】		（単位：人）	
定員 (A)	入退所（年間）		入退去割合 (①+②) × 0.5/ (A)
	入所 ①	退所 ②	
243	182	72	52.3%

## 【看取りや医療への対応状況】

■看取り介護を実施している事業所は、21 事業所中 10 事業所（55%）あり、29 年度の実施人数は 3 人である。（表 2 2 参照）

（表 2 2）看取り介護の実施状況

【全施設】		（単位：施設）	
施設	看取り介護 対応		看取り介 護の実施 件数
	有	無	
21	10	11	8
100%	48%	52%	

■入居者が提供を受けている主な医療処置の上位は「点滴」「じょくそうの処置」となっており、そのほかストーマー処置やその他となっている。また、入居者 218 人中 15 人（7%）が何らかの医療処置を受けている。（表 2 3 参照）

（表 2 3）入居者が提供を受けている主な医療処置

【全施設】（単位：施設）

点滴 の管理	中心静脈 栄養	透析	ストーマー の処置	酸素療法	レスピレ ーター	気管切開 の処置
6	0	0	1	1	0	0
疼痛 の看護	経管 栄養	モニター 測定	じょくそ うの措置	カテーテ ル	その他	実人数
1	0	1	4	0	3	15

## 【その他】

■日常生活圏域別の稼働率は下段の（表 2 4）のとおりとなっている。

■事業所別の意見は下段の（表 2 5）のとおりとなっている。

(表24) 日常生活圏域別の稼働率 [認知症対応型共同生活介護] 1/2

計画区域			平成29年度(年度末)													稼働率 (E)/(D)		
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度未現在) (A)	合計(①~③)														
				定員 (D)	実入居者 (E)	登録者の住所地				要支援		要介護					その他	
						日常生活圏域内	事業所と同じ小学校区	左記以外	事業所所在する日常生活圏域外	鳥取市外(みなし指定)	1	2	1	2	3			4
A	中ノ郷	浜坂	1	9	9	2	3	4				2	1	4		2	100.0%	
		中ノ郷	2	27	27	1	10	16			1	6	15	4	1		100.0%	
		計	3	36	36	3	13	20			1	8	16	8	1	2	100.0%	
	北	城北																
		久松																
		遷喬																
	計																	
	西	醇風																
		富桑	1	9	8	1	7					1	4	1	1	1	88.9%	
		計	1	9	8	1	7					1	4	1	1	1	88.9%	
	福部	福部	1	9	9	2	7					2	2	3		2	100.0%	
		計	1	9	9	2	7					2	2	3		2	100.0%	
	合計		5	54	53	6	27	20			1	11	22	12	2	5	98.1%	
B	東	修立	2	36	36	9	10	17				8	10	13	4	1	100.0%	
		稲葉山																
		岩倉																
	計	2	36	36	9	10	17					8	10	13	4	1	100.0%	
	南	倉田																
		美保南																
		日進	1	9	9	2	2	5				2	5	1		1	100.0%	
		計	1	9	9	2	2	5				2	5	1		1	100.0%	
	桜ヶ丘	米里																
		津ノ井	1	9	9			9										100.0%
		若葉台	1	9	9		7	2				1	4	3	1			100.0%
		計	2	18	18		7	11				1	4	3	1			100.0%
	国府	宮ノ下																
大矛																		
成器																		
谷																		
あおば	1	18	18	4	5	9				1	5	6	4	2		100.0%		
計	1	18	18	4	5	9				1	5	6	4	2		100.0%		
合計		6	81	81	15	24	42				12	24	23	9	4	100.0%		
C	江山	神戸																
		大和																
		計																
	高草	大正	1	18	18		3	15				2	6	4	4	2		100.0%
		東郷																
		松保																
		計	1	9	9	2	2	5				2	4	1		2		100.0%
豊実	1	9	9	2	2	5				2	4	1		2		100.0%		
明治																		
計	2	27	27	2	5	20				4	10	5	4	4		100.0%		
合計		2	27	27	2	5	20				4	10	5	4	4		100.0%	



(表25) 事業所別の意見 [認知症対応型共同生活介護]

## 《ターミナルケアについて》

事業所	実施状況	課題
A事業所	グループホームでは医療処置が常時必要な方に対応出来ない為、契約時にまず、終末期に対するご家族(あるいはご本人)の意向をお聞きするようにしている。また、入居後は、状況の変化に応じて、ご家族・協力医・職員間でカンファレンス開き、意思確認をし、後悔のないよう対応するようにしている。今回(5月)の看取りの件では、近くに住まわれている娘さんが毎日のように来所され、看取りを行うことで娘さんと職員との信頼関係が築けていたと思う。	夜勤者が一人のため、職員によっては心の負担が大きい。痰の吸引やじょくそうの処置などが必要になった場合の対応。
B事業所	グループホームでの看取りは行っていないが、医療的なケアが必要な際は、病院への転院等法人全体でケアする体制となっている。	
C事業所	隣接する診療所、訪問看護と連携して実施している。24時間オンコール体制であり緊急時は報告・指示を仰いでいる。看取りケア後は必ずカンファレンスを行い、振り返りや反省点、課題点を見つけ、以降の看取りケアに活かすようにしている。	看取りを経験している職員が少なく、一連の流れ(フローチャート)が把握できていない現状がある。診療所・訪問看護の連携を含めたマニュアルの把握が課題である。
D事業所	当施設は母体となる医院と連携をとり、急な体調変化を報告し指示を受ける等対応している。又、訪問看護ステーションの訪看による医療処置を行っている。実施にあたっては常日頃から観察し異常があれば訪看、医師に報告して指示を受けることで職員の心理的な不安を軽減すると同時に適切な対応を行う事を継続できるようにしている。	入居者の高齢化と症状の重度化に伴う看取りは増えている。入居者と家族の心のケアをどのようにしていくか課題である。
E事業所	看取り介護については施設の方針を考えているところであるが、看取りとなると協力医の協力も必要になり、主治医によっては深夜も含め24時間の連絡が出来ることもあるが、利用者のすべての方が同じ主治医とは限らなう(実際に深夜急変時の往診を頼んだこともあったが、往診してもらえなかった。)為、看取り看護には対応していない。	
F事業所	家族様からの希望もあり看取りをさせて頂きました。家族様より、「命はしない」ので食べれるものを食べれるだけでいいです」といわれ、家族様、係りつけの医師と連携を取りながら週1回から2回の点滴をして頂きながらわが家で看取りをさせて頂きました。	医師による点滴を、週1回から2回で対応して「いただいているが、急変時に係りつけ医師に連絡してもすぐには対応できない時もあった。家人が県外だと十分な話し合いが出来ず、定期的に話し合いが大切だと思った。大変だ感じた。
G事業所	日頃から定期的に往診に来ていただいている主治医の指示により、緊急時の対応についても連携をとり、状況を伝えながら看取りを実施した。その後、看取り看護について職員で検証し、対応について振り返りを行った。	施設の開所当初は軽度の要介護認定者が入居されていたが、加齢とともに介護度が上がり、家族の方も施設を変わず、ここで見て欲しいとの希望があり、終末期までの意向が増えている。看取り介護も一人ずつ状況が違いため、手探り状態であるが、納得の出来る対応をしていきたいと考えている。対応する職員の介護負担が増しており、精神的にも疲弊状態でフォローが課題である。
H事業所		訪問診療をしてくださる主治医の確保、グループホームで対応できる看取り介護(医療面を含め)についての家族の理解・承諾・協力、施設の看取り介護対応体制等、その他様々な条件を満たした時のみ対応できる可能性がある。現実的には医療行為など大きな課題がある場合が多くあり、グループホームでの看取り介護の実施は実際ハードルが高いと考えられる。
I事業所	現在是对象となる入居者がおらず、実施件数は0となっている。職員も未経験であり、対応できるか不安に感じる。	当館の場合、入居者様それぞれに主治医が異なるため、協力いただける主治医であるが、でもかわってしまう。特定の医院の協力とまではなっていない。そのため、主治医の変更というものも入居者様、家族への負担も大きく、疑問に感じる。職員の事前研修棟もまだ不十分のように感じる。
J事業所	看取りの段階は特に医療的な処置が必要になるため、協力いただける診療所の医師の確保が必要となるが、当施設は地元のクリニック等、周辺医療機関の主治医の協力が得られており(往診等)、夜間の急な往診にも対応いただける予定。実施に当たっては、マニュアルを整備し、継続的な体制としている。	
K事業所	担当医・訪問看護師他多職種と連携を図りながら、看取りケアを実施したが、看取りケアを実施するに当たり、介護職員の負担感があり、特に夜勤者が1人のため、管理者が技術・心理的サポートを行いながらの看取りケアを行った。また、家族の協力をいただき最後のときまで、一緒に入居者を支えることができた。	看取りケアを実施するには、職員体制の増員が必要であると考えられる。

《医療処置について》

事業所	実施状況	課題
A事業所	協力医の往診が二週間に一度あり、定期的に状況観察をしていただいている。必要に応じて、協力医の指示のもと、看護師が医療処置を行っている。	医療的処置(痰の吸引など)が必要になってきた場合、看護師以外の職員の対応が課題。
B事業所	・グループホーム内での点滴の実施 ・酸素飽和度の測定等行うが、酸素が必要であるため、隣接病院に夜間入院する	・自己導尿や自己インシュリンなどの受け入れは行えるが、常時酸素ボンベが必要な場合について検討が必要。 ・日中・夜間とも当直医師・協力看護師の協力を得られるが、緊急性が高い・高度な処置が必要な場合は対応できないため、状態の見極めが難しい。
C事業所	隣接する診療所の医師が往診し、日常の処置は診療所、訪問看護の看護師が対応している。	介護職員ひとりひとりの医療的な視点やスキルアップが必要。
D事業所	訪問看護師が行っている	今現在ない
E事業所	看護師により人工肛門の処置及び管理を行っている。	
G事業所	地元の病院、医院の協力体制のもと、医師が必要に応じて往診、医師の指示のもと、当施設の看護職員や介護職員が実施している。	施設の開設後7年経過し、近年は加齢と共に医療処置の必要な方が増加し、対応が困難になっている。受診時家族が対応できない場合も多く、介護サービスより比重が増している。夜間の看護が必要な事もあり、職員も疲弊している。
I事業所	上記事項について以前対応していたこともある。現在は対象者がいない。臨時で点滴管理を実施する場合もあるが、看護職員で対応している。	常時医療従事者がいる施設状況ではないため、医療処置の種類によっては、一時的な対応はできても対応が困難なケースも多い。
J事業所	主治医の指示により、当施設の看護職員が医療処置を実施。	特に問題ありません
K事業所	個人の体調で、必要に応じて協力医に診察で実施している。	
L事業所	薬とガーゼ処置と体位交換。	清潔の保持と栄養摂取、生活習慣の中に運動を取り入れる。

《自由記載》

事業所	内容
A事業所	ご利用者も高齢化・重度化してきており、意思疎通の難しいご利用者が多い中、いかに職員の向上心、モチベーションを維持していくか課題である。
D事業所	認知症の症状が進んでいる方にいかに充実した毎日を過ごして頂けるかを課題としている。
E事業所	施設の間所も関係しているかどうかはわからないが、利用者が集まらない。
G事業所	介護度が高い方が多く、容態が変化しやすく、そちらの対応に時間を取られることが多い。特養に申込みをして頂いている方も5名あるが、待機中である。介護度の差が大きく、グループホームとしての活動ができなくなっている。
L事業所	スタッフ研修をして職員のスキルアップを図りたい。
M事業所	人材確保(若い世代が少ない)
N事業所	今後、入所者の医療サポートが必要となった場合、適切な対応が出来る体制作りが課題です。

#### (4) 地域密着型通所介護

(※数値は年度末現在のもの)

##### 【事業所数、定員等】

- 本市の地域密着型通所介護は、全体で44施設がサービスを提供している。
- 営業時間は平均9時間09分、サービス提供時間は平均7時間03分となっている。
- 利用定員は、44施設全体で565人（1施設当たり定員最小10人～最大20人）となっている。
- 平均利用定員13人に対して1日当たりの平均利用者7人となっており、定員に対してまだ余裕のある利用者数となっている。稼働率は、平均55.2%（1事業所当たり最小2.3%～最大84.8%）となっている。

##### 【宿泊事業】

- 宿泊事業を実施している事業所は、全44事業所中8事業所（18%）となっている。
- 宿泊定員は平均3人で、宿泊者は1日平均1人（1事業所当たり最小0人～最大2人）となっている。
- 年度末の3月の実宿泊者数は19人であり、このうち2人（11%）が20日以上宿泊している。
- 宿泊事業を行っている事業所に限った稼働率は、平均52.5%となっている

【利用者の住所地】

■利用者の住所地は下段の（表26）のとおりとなっている。施設の所在する日常生活圏域内からの利用が72.3%と半数以上を占めている。

■本市の介護保険被保険者利用率は96.2%となっている。

（表26）利用者の住所地

【全施設】

（単位：人）

区分		人数	構成比
入居前の住所地が鳥取市内の方 (①+②) I		672 人	96.6%
施設の所在する日常生活圏域内から入居	①	503 人	72.3%
	内 訳		
	事業所と同じ小学校区から入居	192 人	27.6%
	上記以外	311 人	44.7%
施設の所在する日常生活圏域以外から入居 ②		169 人	24.3%
入居前の住所地が鳥取市外の方（みなし指定） II		24 人	3.4%
合計 ( I + II )		696 人	100.0%

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■全事業所の要介護度別の利用者は下段の（表27）のとおりとなっている。要介護2の利用を中心に、要介護1から要介護5まで幅広く利用している。

ただし、宿泊事業（※旅館業法の届出を行った簡易宿泊施設）の実施の有無で比較すると、宿泊事業を行っていない事業所は、要介護1から要介護3が全利用者564人中457人（81%）と利用の中心となっており、宿泊事業を行っている事業所は、要介護1から要介護3が全利用者125人中91人（73%）となっている。

2つの事業形態の比較から、宿泊事業を行っている事業所は、重度の要介護認定者の受け皿となっており、主に特養などの施設入所の待機者が利用しているためと思われる。

（表27）要介護度別の利用者数

【全事業所】・・・A

（単位：人）

区分	要介護						計
	1	2	3	4	5	その他	
利用者	173	247	128	65	31	45	689
構成比	25%	36%	19%	9%	4%	7%	100%

【Aのうち**宿泊事業を行っていない**事業所】 単位：人)

区分	要介護						計
	1	2	3	4	5	その他	
利用者	147	210	100	50	21	36	564
構成比	26%	37%	18%	9%	4%	6%	100%

【Aのうち**宿泊事業を行っている**事業所】 (単位：人)

区分	要介護						計
	1	2	3	4	5	その他	
利用者	26	37	28	15	10	9	125
構成比	21%	30%	22%	12%	8%	7%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者(変更申請中の者など)

■認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数は下段の**(表28)**のとおりとなっている。

**(表28) 日常生活自立度別の利用者数**

【全施設】 (単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
利用者	77	89	127	122	105	21	22	33	596
構成比	13%	15%	21%	20%	18%	3%	4%	6%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

■「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計**(表29)**すると、利用者の主な状態像は「要介護1から3」かつ「認知症高齢者の日常生活自立I～IIIa」の領域に分布している。

(表29) 鳥取市内の地域密着型通所介護の利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の地域密着型通所介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		要介護						計
	判定基準	見られる症状・行動の例	1	2	3	4	5	その他	
なし			20人	21人	6人	9人	2人	19人	77人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	31人	35人	7人	5人	1人	10人	89人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多発見られても、誰かが注意していれば自立できる。							
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	43人	59人	18人	4人	0人	3人	127人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	43人	40人	30人	3人	3人	3人	122人	
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。							
	a	日を中心として上記IIIの状態が見られる。	11人	33人	33人	20人	8人	0人	105人
b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	2人	4人	4人	6人	5人	0人	21人	
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0人	1人	4人	6人	11人	0人	22人
	M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	6人	17人	6人	3人	1人	0人	33人
		計	156人	210人	108人	56人	31人	35人	596人

「要介護1〜3」・「自立度I〜IIIa」が本市所在の事業所における利用者の中心的な状態像。

【備考】  
 1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果  
 2 調査時点：平成30年3月31日現在  
 3 回答数：38事業所／44事業所（回答率82%）  
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

## 【介護保険施設への入所申込みの状況】

- 利用者のうち、他の介護保険施設への入所を希望している者は下段（表30）のとおりとなっている。

（表30）介護保険施設への入所申込み者

【全施設】

（単位：人）

利用者	他施設へ申込み者	内訳（申込み先の施設）					GH	その他
		特養	老健	介護療養	特定施設			
552	24	9	5	0	10	0	0	

## 【その他】

- 日常生活圏域別の稼働率は下段の（表31）のとおりとなっている。
- 事業所別の意見は下段の（表32）のとおりとなっている。

(表31) 日常生活圏域別の稼働率 [地域密着型通所介護] 1/2

計画区域			平成29年度(年度末現在)														稼働率 (D)/(C)		
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	合計①～②				登録者の住所地						稼働率 (D)/(C)					
				定員 (C)	1日当たり		契約者	日常生活圏域内		要介護					その他				
					利用者 (D)	うち鳥取市の被保険者		事業所と同じ小学校区	左記以外	事業所の所在する日常生活圏域外	鳥取市外(みなし指定)	1	2			3		4	5
A	中ノ郷	浜坂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		中ノ郷	1	20	1	1	12	1	11	0	0	4	7	0	0	1	0	0	6.1%
		計	1	20	1	1	12	1	11	0	0	4	7	0	0	1	0	0	6.1%
	北	城北	1	10	3	3	6	3	0	3	0	1	1	2	1	0	1	0	33.2%
		久松	3	38	24	24	59	7	45	7	0	16	25	5	9	2	2	0	64.2%
		遷喬	5	75	46	46	92	20	24	48	0	23	35	22	5	3	4	0	61.2%
		計	9	123	74	74	157	30	69	58	0	40	61	29	15	5	7	0	59.8%
	西	醇風	1	10	4	4	7	2	0	5	0	3	3	1	0	0	0	0	37.3%
		富桑	2	25	11	10	21	13	11	1	2	4	9	6	1	1	0	0	45.5%
		明德	1	12	8	8	24	6	4	14	0	3	9	7	3	2	0	0	68.8%
		計	4	47	23	22	52	21	15	20	2	10	21	14	4	3	0	0	49.7%
	福部	福部	1	10	6	5	9	1	5	0	3	2	3	1	2	1	0	0	63.3%
計		1	10	6	5	9	1	5	0	3	2	3	1	2	1	0	0	63.3%	
	合計	15	200	105	103	230	53	100	78	5	56	92	44	21	10	7	0	52.3%	
B	東	修立	1	15	9	9	12	3	9	0	0	2	3	3	2	1	1	0	60.6%
		稲葉山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		岩倉	3	35	16	14	39	12	15	9	3	5	14	12	4	4	0	0	45.4%
		計	4	50	25	23	51	15	24	9	3	7	17	15	6	5	1	0	50.0%
	南	倉田	1	13	7	7	17	0	6	11	0	4	8	2	2	1	0	0	56.4%
		美保南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		日進	2	34	22	21	43	6	20	16	2	15	18	6	4	0	0	0	64.0%
		美保	3	30	18	21	28	7	10	8	3	8	8	6	2	4	0	0	58.7%
		計	6	77	47	49	88	13	36	35	5	27	34	14	8	5	0	0	60.7%
	桜ヶ丘	米里	1	10	4	2	11	2	2	3	4	2	2	0	1	1	5	0	37.8%
		津ノ井	1	10	6	5	20	2	16	2	0	4	3	4	3	4	2	0	55.8%
		若葉台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		面影	1	10	6	5	11	4	6	0	1	1	7	2	1	0	0	0	55.6%
		計	3	30	15	12	42	8	24	5	5	7	12	6	5	5	7	0	49.7%
	国府	宮ノ下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		大矛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		成器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
谷		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
あおば		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	合計	13	157	87	84	181	36	84	49	13	41	63	35	19	15	8	0	55.2%	
C	江山	神戸	1	10	8	8	14	6	2	6	0	2	7	5	0	0	0	0	84.8%
		大和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		美穂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	1	10	8	8	14	6	2	6	0	2	7	5	0	0	0	0	84.8%
	高草	大正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		東郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		松保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		豊実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		明治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	1	10	8	8	14	6	2	6	0	2	7	5	0	0	0	0	84.8%	

(表31) 日常生活圏域別の稼働率 [地域密着型通所介護] 2/2

計画区域			平成29年度(年度末現在)															
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	合計①～②			契約者	登録者の住所地					要介護					稼働率 (D)/(C)
				定員 (C)	1日当たり			日常生活圏域内		要介護			その他					
					利用者 (D)	うち鳥取市の被保険者		事業所と同じ小学校区	左記以外	事業所の所在する日常生活圏域外	鳥取市外(みなし指定)	1		2	3	4	5	
												1		2	3	4	5	
D	湖東	千代水	2	25	12	12	30	6	9	14	1	5	12	5	8	0	0	49.4%
		末恒	2	25	12	12	32	7	19	6	0	9	13	7	3	0	0	49.3%
		湖山西	1	20	12	12	12	8	4	0	0	4	6	2	0	0	0	62.0%
		賀露	2	24	10	7	20	7	8	3	2	2	2	3	3	0	10	42.6%
		湖山	2	28	16	15	39	13	17	8	1	18	11	8	2	0	0	56.6%
	計	9	122	63	59	133	41	57	31	4	38	44	25	16	0	10	51.8%	
	湖南	大郷(湖南)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		吉岡(湖南)	1	10	7	7	21	21	0	0	0	5	8	5	0	0	3	67.0%
	計	1	10	7	7	21	21	0	0	0	5	8	5	0	0	3	67.0%	
	合計	10	132	70	66	154	62	57	31	4	43	52	30	16	0	13	52.9%	
E	河原	河原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国英	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		八上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		西郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		散岐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	用瀬	用瀬	1	10	8	7	14	7	6	0	1	0	5	4	4	1	0	75.8%
		大村社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2	20	15	13	24	11	6	5	2	2	9	5	6	2	0	74.6%	
	佐治	佐治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	2	20	15	13	24	11	6	5	2	2	9	5	6	2	0	74.6%		
F	気高	瑞穂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		逢坂	1	18	9	8	23	4	19	0	0	5	5	3	1	2	7	49.0%
		酒津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		宝木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		浜村	1	10	5	5	17	9	8	0	0	10	5	2	0	0	0	48.9%
	計	2	28	14	12	40	13	27	0	0	15	10	5	1	2	7	48.9%	
	鹿野	鹿野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		勝谷	1	18	14	14	46	11	35	0	0	14	14	4	2	2	10	77.0%
		小鷲河	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	1	18	14	14	46	11	35	0	0	14	14	4	2	2	10	77.0%	
	青谷	青谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		日置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		日置谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		勝部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		中郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	3	46	28	26	86	24	62	0	0	29	24	9	3	4	17	59.9%		
総計	44	565	312	300	689	192	311	169	24	173	247	128	65	31	45	55.2%		

(表32) 事業所別の意見 [地域密着型通所介護]

事業所名	内容
A事業所	立地の問題で地域密着になってから以降も〇〇町からの利用申込が多いが、併設施設への入居を希望されている為、住所地特例等の扱いが判りづらく対応しきれて居ない。
B事業所	ご利用者の獲得。職員の確保。
C事業所	鳥取市の住んでおられる方で、キーパーソン(家族)が県外で住所が鳥取市が方の地域密着を利用する際の審査、手続きにハードルが高く利用できなかった事案が2件あり、本人、キーパーソン(家族)への説明、謝罪があった。少人数のデイサービスを利用したい方の選択肢が少ないことに対して問題があるのではないかと思う。
D事業所	最近、豪雨災害が多く発生しており、山間地域でもあるので、土砂災害等のリスクが高いと思われます。この件に対して十分な対策がとれていないのが課題です。
E事業所	併設施設が有料老人ホームであれば利用できる申込みがあるが、デイサービス提供時の人員基準の問題で対応が難しい。デイサービス提供時は職種問わず2名以上が勤務し見回りや緊急時対応可能な状況にある事、併設入居者施設の規模が10名以下であること、利用者が入居、入所系施設に申込みをしているが待機中である事などを条件に、一時的に有料老人ホームとして使用出来るよう条件を緩和出来ないか。
F事業所	従業員(介護職員)の確保
G事業所	平成30年3月31日にて宿泊サービス終了
H事業所	平成28年調査でも書きましたが、歯科医に指導を賜り、利用者の口腔ケアに力を入れたいのですが、現行の介護保険制度及び健康保険制度の下では、歯科医による地域密着通所介護サービスへの往診や専門医による健康指導は認められておらず、歯科医の善意に頼るしかありません。クオリティーの高い介護を提供するには口腔ケアを不可欠ですが、歯科医師の善意に頼るしかない現状ではサステナビリティを維持するためにも限界があります。この部分、せめて歯科医師に対して保険請求の道が拓ければと願います。

## (5) 地域密着型特定施設入居者生活介護

(※数値は年度末現在のもの)

### 【事業所数、定員等】

- 本市の地域密着型特定施設入居者生活介護は、全体で3施設がサービスを提供している。
- 入居定員は、3施設全体で79人となっている。
- 入居者は、全体の入居定員79人に対して入居者76人となっており、稼働率は96.2%（1施設当たり最小88.0%～最大100%）となっている。

### 【入居前の住所地】

■入居前の住所地は下段の（表33）のとおりとなっている。施設の所在する日常生活圏域内からの入居が60.5%、施設の所在する日常生活圏域以外からの入居が38.2%となっている。

（表33）入居前の住所地

【全施設】 (単位：人)

区分		人数	構成比
入居前の住所地が鳥取市内の方 (①+②) I		75 人	98.7%
施設の所在する日常生活圏域内から入居	①	46 人	60.5%
	内訳	事業所と同じ小学校区から入居	16 人 21.1%
		上記以外	30 人 39.4%
施設の所在する日常生活圏域以外から入居 ②		29 人	38.2%
入居前の住所地が鳥取市外の方 (みなし指定) II		1 人	1.3%
合計 (I+II)		76 人	100.0%

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■全事業所の要介護度別の入居者は下段（表34）のとおりとなっており、このうち要介護2から要介護4の利用は、全登録者76人中58人（76%）となっており、利用の中心である一方、要介護5の重度者の利用も一定数あり、今後重度者の利用割合は増加する傾向にあると思われるため、看取りなど重度者への対応が課題になるものと思われる。

（表34）要介護度別の入居者数

【全施設】 (単位：人)

区分	要介護					計
	1	2	3	4	5	
入居者	6	19	25	14	12	76
構成比	8%	25%	33%	18%	16%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

■認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数は下段の（表35）のとおりとなっている。

(表 3 5) 日常生活自立度別の利用者数

【全施設】

(単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
利用者	0	7	14	18	16	5	16	0	76
構成比	0%	9%	18%	24%	21%	7%	21%	0%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から3つ赤太字で表示している。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計(表 3 6)すると、入居者の主な状態像は「要介護 2 から 4」かつ「認知症高齢者の日常生活自立度 II a～III a」の領域に分布している。

(表36) 鳥取市内の地域密着型特定施設入居者生活介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の地域密着型特定施設入居者生活介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		要介護						計
	判定基準	見られる症状・行動の例	1	2	3	4	5	その他	
なし			0人						
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。		1人	2人	2人	1人	0人	0人	7人
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多く見られても、誰かが注意していれば自立できる。								
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	2人	5人	5人	2人	0人	0人	14人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとり留守番ができない等	2人	5人	7人	2人	2人	0人	18人
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。								
a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・高声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	0人	4人	6人	3人	0人	0人	16人
	b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	1人	1人	2人	1人	0人	0人	5人
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIII aに同じ	0人	2人	3人	5人	6人	0人	16人
	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等	0人						
計			6人	19人	25人	14人	12人	0人	76人

「要介護2～4」・「自立度IIa～IIIa」が本市所在の事業所における利用者の中心的状态像。

【備考】  
 1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果  
 2 調査時点：平成30年3月31日現在  
 3 回答数：3事業所／3事業所（回答率100%）  
 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

## 【入退去の状況】

■入退去の状況は下段の（表37）のとおりとなっている。

（表37）施設の入退去の状況

【全施設】		(単位：人)	
定員 (A)	入退去 (月平均)		入退去割合 (①+②) × 0.5 / (A)
	入居 ①	退去 ②	
79	27	22	31.0%

## 【看取りや医療への対応状況】

■看取り介護を実施している事業所は、3事業所中3事業所（100%）あり、29年度の実施人数は7人である。（表38参照）

（表38）看取り介護の実施状況

【全施設】		(単位：施設)	
施設	看取り介護 対応		看取り介護の 実施 件数
	有	無	
3	3	0	7
100%	100%	0%	

■入居者が提供を受けている主な医療処置の上位は「点滴」となっており、そのほか透析や疼痛の看護、経管栄養やモニター測定などとなっている。また、入居者76人中55人(72%)が何らかの医療処置を受けている。（表39参照）

（表39）入居者が提供を受けている主な医療処置

【全施設】		(単位：施設)				
点滴 の管理	中心静脈 栄養	透析	ストー マ ーの処置	酸素療法	レスピレ ーター	気管切開 の処置
3	1	2	1	1	0	0
疼痛 の看護	経管 栄養	モニター 測定	じょくそ うの措置	カテーテ ル	その他	実人数
2	2	2	2	2	0	55

## 【その他】

■日常生活圏域別の稼働率は下段の（表40）のとおりとなっている。

■事業所別の意見は下段の（表41）のとおりとなっている。

(表40) 日常生活圏域別の稼働率 [地域密着型特定施設入居者生活介護] 1/2

計画区域			平成29年度(年度末)												稼働率 (E)/(D)				
圏域	ブロック	地区公民館	事業所数 (年度末現在) (A)	定員 (D)	実入居者 (E)	登録者の住所地				要介護									
						日常生活圏域内		乗 所 の 所 在 す る 日 常 生 活 圏 域 外	鳥 取 市 外 ( み な し 指 定)	1	2	3	4	5		その他			
						事業 所 と 同 じ 小 学 校 区	左 記 以 外												
A	中ノ郷	浜坂																	
		中ノ郷	1	29	29	4	25				2	7	14	5	1			100.0%	
		計	1	29	29	4	25				2	7	14	5	1			100.0%	
	北	城北																	
		久松																	
		遷喬																	
		計																	
	西	醇風																	
		富榮																	
		明德																	
		計																	
	福部	福部																	
		計																	
	合計	1	29	29	4	25				2	7	14	5	1			100.0%		
B	東	修立																	
		稲葉山																	
		岩倉																	
		計																	
	南	倉田																	
		美保南																	
		日進	1	25	22	8	5	8	1	4	4	8	2	4				88.0%	
		計	1	25	22	8	5	8	1	4	4	8	2	4				88.0%	
	桜ヶ丘	米里																	
		津ノ井																	
		若葉台																	
		計																	
	国府	宮ノ下																	
大矛																			
成器																			
	計																		
	合計	1	25	22	8	5	8	1	4	4	8	2	4				88.0%		
C	江山	神戸																	
		大和																	
		美穂																	
		計																	
	高草	大正																	
		東郷																	
		松保	1	25	25	4		21			8	3	7	7				100.0%	
豊実																			
	計	1	25	25	4		21			8	3	7	7				100.0%		
	合計	1	25	25	4		21			8	3	7	7				100.0%		



(表 4 1) 事業所別の意見 [地域密着型特定施設入居者生活介護]

《ターミナルケアについて》

事業所	実施状況	課題
A事業所	・看取り介護のマニュアルに則った対応が出来ている。 ・夜間の看護体制も確立されており、スムーズな対応が出来ている。 ・医療連携が取れており、365日24時間の急変時等の医療連携対応可能な状態である。	現状の体制で問題なしと思考する。
B事業所	クリニックが全面的に協力してくれているので、医療的処置や緊急時対応は問題なく行えている。 職員研修などにも組み込んで行っているものの、特変時の対応や連絡体制の周知は以前に比べスムーズに行えているように思えるが、新人育成や医療系の経験がない介護職員の育成を今後力を入れて対応する必要がある。	終末期の対応や看取りを行う事で、ご家族はもちろん職員のアフターフォローも充実させていく必要がある。 メンタルケアは、法人としては行っているが、特に少ない職員で看取りを行った夜勤での職員へは個別の面談などを行い、フォローアップを強化していく。
C事業所	※地域密着型特定入所者生活介護の指定を受ける前に1名あり。 主治医、ご家族と連絡を緊密に行ない状態を報告している。	介護職員も医療知識を身に付け、より詳細な観察、対応を行なえるようになる必要がある。

《医療処置について》

事業所	実施状況	課題
A事業所	必要に応じ、看護師による医療措置を施している。看護師の体制や人数も、現状満たされており問題なし。 24時間365日の医療連携対応が可能な状態であり、医師との連携についても問題なし。	現状の体制で特段問題なし。
B事業所	医療法人が経営している有料老人ホームという事もあり、医療依存度の高い利用者が多い。 人工透析をクリニックで行っている為、全体の6割の利用者は人工透析を受けている。シャントや血圧の管理をはじめ、食事・水分制限など観察項目は多い。その他にも、他の施設で受け入れられにくいNVHの利用者なども受け入れている。	看護師も3名体制で医療提供を行っているが、経験年数や医療知識にバラつきがある。 統一した老年看護を提供するためには、知識の底上げが必要。 また介護職員へも医療知識を幅広くレクチャーする必要があり、今後の課題とする。
C事業所	透析1名、経管栄養3名、経管栄養及び留置カテーテル2名	医療処置が必要な利用者を多数になると対応しきれない。

《自由記載》

事業所	内容
B事業所	近年、指定難病の利用者の申し込みも増加傾向にある。 現在受入れ実績(8月末)はないが、今後は受け入れを前向きに検討している。 その為には、難病に対する正しい知識と特徴を職員に周知させる必要がある。 外部の医療機関と連携を取り、受け入れ準備を進めている。
C事業所	看護、介護職員の増員と新職員指導体制の充実。

(6) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(※数値は年度末現在のもの)

【事業所数等】

- 本市の定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、全体で2施設がサービスを提供している。
- 1月あたりの平均実利用者は19人となっている。

【利用者の住所地】

- 利用者の住所地は下段の(表 4 2)のとおりとなっている。施設の所在する日常生活圏域以内からの利用が68.7%を占めている。

(表 4 2) 利用者の住所地

【全施設】

(単位：人)

区分		人数	構成比	
入居前の住所地が鳥取市内の方 ( ①+② ) I		15 人	93.7%	
施設の所在する日常生活圏域内から入居	①	11 人	68.7%	
	内訳	事業所と同じ小学校区から入居	0 人	0%
		上記以外	11 人	68.7%
施設の所在する日常生活圏域以外から入居 ②		4 人	25%	
入居前の住所地が鳥取市外の方 (みなし指定) II		1 人	6.3%	
合計 ( I+II )		16 人	100.0%	

## 【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

■全事業所の要介護度別の利用者は下段の (表 4 3) のとおりとなっている。

(表 4 3) 要介護度別の利用者数

【全事業所】・・・A

(単位：人)

区分	要介護					計
	1	2	3	4	5	
利用者	4	3	7	1	1	16
構成比	25%	19%	44%	6%	6%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から2つ赤太字で表示している。

■認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数は下段の (表 4 4) のとおりとなっている。

(表 4 4) 日常生活自立度別の利用者数

【全施設】

(単位：人)

区分	なし	I	II		III		IV	M	計
			a	b	a	b			
利用者	0	0	0	7	8	0	0	1	16
構成比	0%	0%	0%	44%	50%	0%	0%	6%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを上位から2つ赤太字で表示している。

■「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計すると下段の (表 4 5) のとおりとなる。

(表 4 5) 鳥取市内の定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

鳥取市内の定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度		要介護						計
	判定基準	見られる症状・行動の例	1	2	3	4	5	その他	
なし			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。							
a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たばこ道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできてきたことにミスが目立つ等	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	2人	1人	3人	1人	0人	0人	7人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。							
a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	2人	1人	4人	0人	1人	0人	8人
b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	ランクIII aに同じ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人
		計	4人	3人	7人	1人	1人	0人	16人

【備考】

- 1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果
- 2 調査時点：平成30年3月31日現在
- 3 回答数：2事業所/2事業所（回答率100%）
- 4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

**【介護保険施設への入所申込みの状況】**

■登録者のうち、他の介護保険施設への入所を希望している者は下段（表46）のとおりとなっている。

**（表46）他の介護保険施設への入所申込み者**

【全施設】

（単位：人）

登録者	他施設へ申込み者	内訳（申込み先の施設）					
		特養	老健	介護療養	特定施設	GH	その他
19	7	2	1	0	0	3	1

**【その他】**

■日常生活圏域別の稼働率は下段の（表47）のとおりとなっている。

(表47) 日常生活圏域別の稼働率 [定期巡回・随時対応型訪問介護看護] 1/2

計画区域			事業所数 (年度末 現在)  (A)	平成29年度(年度末現在)											
圏域	ブロック	地区公民館		利用実数											
				登録者 (G)	登録者の住所地				要介護					その他	
					日常生活圏域内		事業所 の所在 する日 常生活 圏域外	鳥取 市外 から 入所	1	2	3	4	5		
事業所 と同じ小 学校区	左記以 外														
A	中ノ郷	浜坂													
		中ノ郷													
		計													
	北	城北													
		久松 遷喬													
	計														
西	醇風														
	富桑 明德														
	計														
福部	福部														
	計														
	合計														
B	東	修立													
		稲葉山													
		岩倉													
		計													
	南	倉田													
		美保南													
		日進 美保													
		計													
	桜ヶ丘	米里													
		津ノ井													
若葉台 面影															
	計														
国府	宮ノ下														
	大矛														
	成器														
	谷 あおば														
	計														
	合計														
C	江山	神戸													
		大和 美穂													
		計													
	高草	大正	1	5	1	1			1	1					
		東郷													
松保 豊実 明治															
	計	1	5	1	1			1	1						
	合計	1	5	1	1			1	1						

(表 4 7) 日常生活圏域別の稼働率 [定期巡回・随時対応型訪問介護看護] 2 / 2

計画区域			事業所数 (年度末 現在)  (A)	平成29年度(年度末現在)										
圏域	ブロック	地区公民館		利用実数										
				登録者 (G)	登録者の住所地				要介護					その他
					日常生活圏域内		事業所 の所在 する日 常生活 圏域外	鳥取 市外 から 入所	1	2	3	4	5	
事業所 と同じ小 学校区	左記以 外	1	2	3	4	5								
D	湖東	千代水												
		末恒												
		湖山西												
		賀露												
		湖山												
	計													
	湖南	大郷(湖												
吉岡(湖														
	計													
	合計													
E	河原	河原												
		国英												
		八上												
		西郷												
		散岐												
	計													
	用瀬	用瀬												
大村 社														
	計													
佐治	佐治													
	計													
	合計													
F	気高	瑞穂												
		逢坂												
		酒津												
		宝木												
		浜村	1	14	10	3	1	4	3	6		1		
	計	1	14	10	3	1	4	3	6		1			
	鹿野	鹿野												
		勝谷												
		小鷺河												
		計												
	青谷	青谷												
		日置												
		日置谷												
勝部														
中郷														
	計													
	合計	1	14	10	3	1	4	3	6		1			
	総計	2	19	11	4	1	4	3	7	1	1			

(表 4 8) 事業所別の意見 [地域密着型特定施設入居者生活介護]

事業所名	内容
定期巡回・随時対応型訪問介護看護のではまゆう	定期的に居宅や病院等を訪問してPRしているが、なかなか利用者が増えていかない

(7) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

(※数値は年度末現在のもの)

【事業所数、定員等】

- 本市の地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、全体で1施設がサービスを提供している。
- 1施設が短期入所生活介護を併設しており、床数は全体で10床となっている。
- 短期入所生活介護（空床利用型）の指定を受けている。
- 入所定員は、施設全体で10人となっている。
- 入所者は、全体の入所定員10人に対して入所者10人となっている。
- 施設全体の稼働率は、100%となっている。

【要介護度、認知症高齢者の日常生活自立度】

- 全施設の要介護度別の入所者は下段の(表 4 9)のとおりとなっている。このうち要介護3から要介護5の利用は、全入所者10人中10人(100%)となっている。
- 全入所者10人のうち鳥取市の介護保険被保険者は10人であり、鳥取市被保険者利用率は100%となっている。

(表 4 9) 要介護度別の入所者数

【全施設】 (単位：人)

区分	要介護					その他	計
	1	2	3	4	5		
入所者	0	0	1	3	6	0	10
構成比	0%	0%	10%	30%	60%	0%	100%

(備考) 上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

- 認知症高齢者の日常生活自立度別の入所者は下段の（表 5 0）のとおりとなっている。このうちⅡa からMまでの入所者は、要介護認定者 10 人中 8 人（80%）を占めており、約 8 割の入所者が認知症により第三者の支援を必要としている。

（表 5 0）日常生活自立度別の入所者数

【全施設】

（単位：人）

区分	なし	I	Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	M	計
			a	b	a	b			
入所者	0	2	1	2	5	0	0	0	10
構成比	0%	20%	10%	20%	50%	0%	0%	0%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

- 「要介護度」と「認知症高齢者の日常生活自立度」でクロス集計（表 5 1）すると、入所者の主な状態像は「要支援 3～要介護 5」かつ「自立度Ⅱb～Ⅳ」の領域に分布している。

鳥取市内の地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護利用者の「日常生活自立度」と「要介護度」

(表5-1) 鳥取市内の地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の「日常生活自立度」と「要介護度」

区分	認知症高齢者の日常生活自立度 判定基準	見られる症状・行動の例	要介護					計	
			1	2	3	4	5		その他
なし			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
I		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭及び社会的にほぼ自立している。	0人	0人	0人	1人	1人	人	2人
II		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。							
a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人
b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	0人	0人	0人	1人	0人	0人	2人
III		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。							
a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便が上手にできない・時間がかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	0人	0人	0人	0人	5人	人	5人
b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ	0人	0人	0人	0人	人	人	0人
IV		日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0人	0人	0人	0人	人	人	0人
M		著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	0人	0人	0人	0人	人	人	0人
		計	0人	0人	1人	3人	6人	0人	10人

【備考】  
1 上記は平成30年度に本市が実施した介護サービス事業所調査の集計結果  
2 調査時点：平成30年3月31日現在  
3 回答数：1事業所/1事業所（回答率100%）  
4 「その他」には、平成30年3月31日現在で要介護認定を受けていない者（変更申請中の者など）

「要介護2~4」・「自立度II a~III a」が本市所在の事業所における利用者の中心的な状態像。

## 【利用者負担段階】

■入所者の利用者負担段階別の人数は、下段の（表52）のとおりとなっている。全入所者10人中4人が軽減を受けており、軽減率は40%となっている。

（表52）利用者負担段階別の利用者数  
【全施設】（単位：人）

区分	1	2	3	軽減なし 4	計
利用者	0	0	4	6	10
構成比	0%	0%	40%	60%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

■入所者の居室類型別の人数は、下段の（表53）のとおりとなっており、利用者10人中4人（40%）がユニット型個室を利用し、軽減を受けている。

（表53）居室類型別の利用者数

【全施設】（単位：人）

区分	利用者負担段階																計				
	従来型個室					多床室					ユニット型個室				ユニット型準個室						
	利用者	1	2	3	軽減なし 4	利用者	1	2	3	軽減なし 4	利用者	1	2	3	軽減なし 4	利用者		1	2	3	軽減なし 4
利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	4	6	0	0	0	0	0	10
構成比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	40%	60%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

## 【短期入所生活介護（空床利用型）の利用】

■短期入所生活介護（空床利用型）の月平均述べ利用者数は1人である。（表54参照）

（表54）要介護度別の短期入所生活介護（空床利用型）の述べ利用者数（平成29年度月平均）

【全施設】（単位：人）

区分	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
利用者	0	0	0	0	1	0	0	1
構成比	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%

（備考）上記の表は構成割合の多いものを赤太字で表示している。

## 【入退去の状況】

■入退去の状況は下段の（表 5 5）のとおりとなっている。

（表 5 5）施設の入退去の状況

【全施設】 (単位：人)

定員 (A)	入退去 (月平均)		入退去割合 (①+②) × 0.5/ (A)
	入所 ①	退去 ②	
10	0	0	0%

## 【その他】

■日常生活圏域別の稼働率は下段の（表 5 6）のとおりとなっている。

(表56) 日常生活圏域別の稼働率 [地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護] 1/2

計画区域			事業所数 (年度末現在) (A)	入所者の状況 [平成29年度(年度末現在)]										
計画区域	ブロック	地区公民館		定員 (A)	入所者 (B)	要介護						(B)のうち鳥取市被保険者 (C)	鳥取市被保険者利用率 (C)/(B)	稼働率 (B)/(A)
						1	2	3	4	5	その他			
A	中ノ郷	浜坂												
		中ノ郷												
		計												
	北	城北												
		久松												
		遷喬												
		計												
	西	醇風												
		富桑												
		明德												
	計													
福部	福部													
	計													
	合計													
B	東	修立												
		稲葉山												
		岩倉												
		計												
	南	倉田												
		美保南												
		日進												
		計												
	桜ヶ丘	米里												
		津ノ井												
若葉台		1	10	10			1	3	6	10	100.0%	100.0%		
面影														
	計	1	10	10			1	3	6	10	100.0%	100.0%		
国府	宮下													
	大矛													
	成器													
	谷													
	あおば													
	計													
	合計		1	10	10			1	3	6	10	100.0%	100.0%	
C	江山	神戸												
		大和												
		美穂												
		計												
	高草	大正												
		東郷												
		松保												
豊実														
	明治													
	計													
	合計													

(表56) 日常生活圏域別の稼働率 [地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護] 2/2

計画区域			事業所数 (年度末現在) (A)	入所者の状況 [平成29年度(年度末現在)]										
計画区域	ブロック	地区公民館		定員 (A)	入所者 (B)	要介護						(B)のうち 鳥取市被保険者 (C)	鳥取市被保険者 利用率 (C)/ (B)	稼働率 (B)/ (A)
						1	2	3	4	5	その他			
D	湖東	千代水												
		末恒												
		湖山西												
		賀露												
		湖山												
	計													
	湖南	大郷(湖南)												
吉岡(湖南)														
	計													
	合計													
E	河原	河原												
		国英												
		八上												
		西郷												
		散岐												
	計													
	用瀬	用瀬												
大村社														
	計													
佐治	佐治													
	計													
	合計													
F	気高	瑞穂												
		逢坂												
		酒津												
		宝木												
		浜村												
	計													
	鹿野	鹿野												
		勝谷												
		小鷲河												
		計												
青谷	青谷													
	日置													
	日置谷													
	勝部													
	中郷													
	計													
	合計													
総計			1	10	10			1	3	6	10	100.0%	100.0%	